

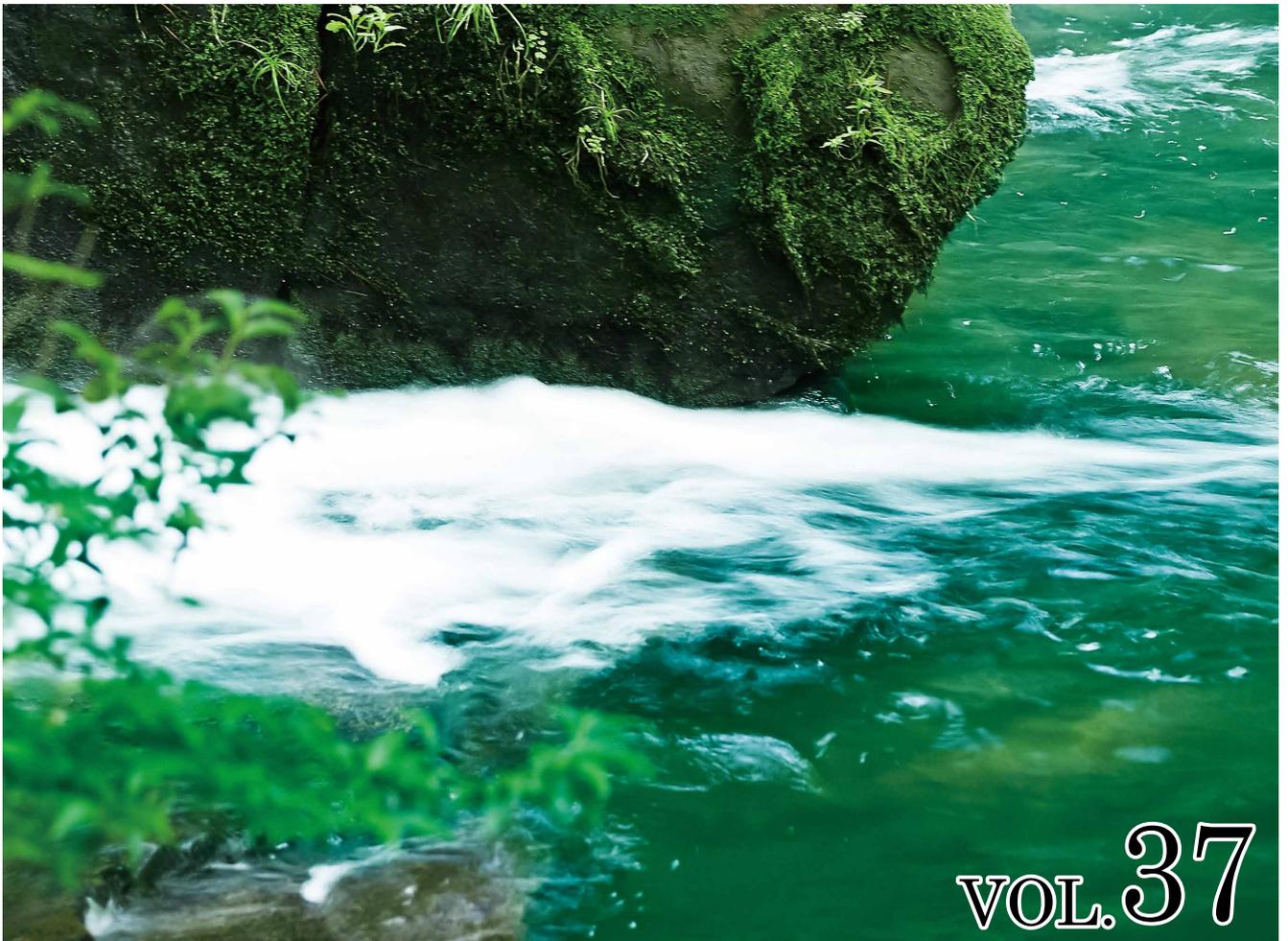
備風

BI

FU

2012・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.37

掲示板（事業活動）

岡山県環境整備事業協同組合 研修会

平成23年8月26日 岡山市南区 岡山県環整協研修室

岡山県環境整備事業協同組合事務所のリニューアルに伴い、自治体、組合関係者らが多数集まり研修会が開催された。開会に先立ち、岡山県環境整備事業協同組合 乗藤慎吾理事長が行い、来賓として(株)岡山県浄化槽団体協議会 八田富夫会長より挨拶を頂いた。続いて、岡山県環境整備事業協同組合 牧生夫副理事長より組合改装に伴う収支報告を行った。研修は二部構成になっており、第一部研修では、岡山県環境文化部循環型社会推進課 楠奥浩庸総括主幹による「東日本大震災に伴う災害廃棄物の処理について」をテーマに、「災害廃棄物のガレキ処理に関して環境省が所管となって昼夜なく処理にあたっていることや、岩手、宮城、福島のカレキ処理を円滑に進めるために法律の一部が緩和されていることなど」、震災廃棄物の処理の困難さ及び震災における法的整備にあたっての状況についての説明を頂いた。第二部研修では、(財)日本環境整備教育センター調査・研究グループ国安克彦グループリーダーによる「岡山県における生活排水処理の現状と課題」についてのテーマで解説された。「岡山県では、下水道や農業集落排水などの集合処理化が進んでいるが、地域に見合ったインフラ整備を進めていかなければいけない」経済上、将来性、地域性を判断した上でのインフラ整備の必要性について言及した。「東日本大震災のように」、日本中で震災被害はいつどこでこの地域が遭っても不自然でない現在の状況の中で、私達廃棄物処理業者は行政機関の自治体と連携し、起こることが予測される災害に備えなければいけないこと。また、将来的な廃棄物処理の危機管理として汚水集合処理や浄化槽などのインフラ整備についても、自治体と住民、受益者また、廃棄物処理業者等の連携を深めしっかりと議論することが必要不可欠であることを確認して研修は終了した。



第9回全国環境連全国大会

平成23年10月28日 山口市 湯田温泉ホテルニュータナカ

第9回の全国大会が「まちにひとに健全な水循環を！」をテーマに、多くの御来賓の方に御参集頂き、全国の組合員の参加のもとで開催された。講演Ⅰでは環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策課・浄化槽推進室 藤塚哲朗室長が、「世界のトイレインドネシアを中心としたアジア諸国の例ー」とテーマして行い、続いての講演Ⅱでは、有限会社宇部環境リサーチ代表取締役兼NPO法人国際環境支援ステーション 協坂宣尚理事長から「日本とアジアの水問題」についての研修を行った。式典では全国環境連 鳥越澄夫会長が開会挨拶を行い、続いて優良役員・従業員表彰が行われた。その後、島田好久副理事長により「廃棄物の適正処理を全うし、循環型社会づくりの実現を達成する為」の「政府に対する要望決議」を行った。又、乗藤慎吾理事が本大会「スローガン」を発表した。続いて安徳博理事が「3Rを積極的に推進し、国・地方及び関係業界が協働して循環型社会づくりを目指すものである」とした「大会宣言」を発表し、採択を行った。来賓の祝辞では衆議院議員・自由民主党選挙対策局長、環境整備議員連盟 河村健夫会長は、「政府に対する要望決議を受け財政の厳しい中で、地方においてどのような汚水処理のあり方が効率的なものであるか考えれば、合併浄化槽の推進が重要である。」との浄化槽の優位性について言及した。又、「昨年の東日本大震災の復興、日本の再生を最重要課題」とし、「地震大国日本においては圧倒的に地震に強い浄化槽は有効であり、清潔な水づくりを通じて豊かな自然環境を実現し、地域社会に貢献するものである」との主旨の挨拶を頂いた。続いて、懇親会が開催され、次回第10回全国大会開催県の宮崎県の村上牧雄理事長を代表とする全国環境連理事が全員登壇し、宮崎市で開催する旨の発表を行い、成功裏に大会は閉会した。



岡山県環境整備事業協同組合 新年懇親会

平成24年 1月31日 岡山プラザホテル

岡山県環境整備事業協同組合、環整連政治連盟岡山支部共催による新年懇談会が開催された。当組合乗藤慎吾理事長は新年の挨拶で、「東日本大震災で被害に遭われた方々のご冥福を祈るとともに復興を願い、組合員に対しての被災地への義援金、機材の提供の協力」について感謝の意を伝えた。次に、当組合岡井美幸専務理事から来年度の事業計画報告を行い、全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会中国地区協議会通常総会が、岡山の全日空ホテルで開催されることと、全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会全国大会が宮崎県で開催されることに言及し、多数の参加を呼び掛けた。次に、社団法人岡山県浄化槽団体協議会八田富夫会長による挨拶を頂き、その中で渋沢栄一の『論語と算盤』の一節、「人間の世の中に立つには武士的精神の必要であることは無論であるが、しかし武士的精神のみに偏して商才というものがなければ、経済の上からも自滅を招くようになるゆえに士魂にして商才がなければならぬ。」この教訓から道徳的に社会に貢献できる企業がこれからの日本を支えていくのではないか。「莫大な税金をつぎ込みその地域の特性も考えず下水道を整備していき街の財政を疲弊させる。これが本当に正しいことなのか。浄化槽をより発展普及をさせる方が良いのでは」との主旨の挨拶をされ、乾杯後、来賓、組合員は和やかな内に祝宴は進行し、今年の抱負を誓いあって会は盛会裏に終了した。



(社)岡山県浄化槽団体協議会研修会

平成24年 2月13日 岡山南ふれあいセンター

開会の挨拶は、岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会 岡山市長高谷茂男会長代理として岡山市環境局の岡本道弘審議監が行い、続いて岡山県環境文化部循環型推進課 楠奥浩庸総括主幹、(社)岡山県浄化槽団体協議会 八田富夫会長より挨拶を頂いた。

研修会では、岡山県で行政と浄化槽関連業者が一堂に会して実施する唯一の研修会であり、多数の関係者が参加した。研修会は行政情報、法定検査、専門研修の3部構成で行われた。行政情報では岡山県環境文化部循環型社会推進課一般廃棄物処理班 久山紀子主任による「最近の浄化槽に関する国の動向について」のテーマで、「東日本大震災によりこれまで以上に浄化槽整備にかかわる予算が削減される」等の説明があった。続いて、(財)健康づくり財団施設検査課 荒木規行主査による「平成23年度浄化槽法定検査結果等について」のテーマで、岡山県の7条、11条検査の結果を発表した。近年の浄化槽はメーカー性能評価型を発表し、高度処理型の浄化槽を製造している。浄化槽の小型、高度処理の新機種ができる等の日進月歩の技術革新が見られ、「浄化槽法の11条検査が岡山県全体で90%以上合格という検査結果が出ている。」ことに言及した。専門研修では、(財)日本環境整備教育センター調査・研究グループ 調査研究第1チーム 仁木圭三チームリーダーによる「災害における浄化槽の被害と課題」というテーマで東日本大震災における震災地東北地方の県別で浄化槽の破損状況を浄化槽本体、流入管、ブロワ別の被害の状況、事例は少ないが液状化現象で浄化槽が浮上してしまっている震災後被害の状況解説を行った。震災後にも早期に復旧可能な浄化槽の有用性に言及した。最後に、東北大震災で少なからず浄化槽を取り巻く状況も変化していて、「岡山県においても東日本大震災のような大地震で、津波など被害にあう恐れが想定される。東日本大震災の教訓を活かして浄化槽の有用性を活かした今後の未来のために協力しなければならない浄化槽行政、浄化槽各関係機関が連携を深めることの重要性等」を確認して研修会は終了した。



行事予定

平成24年 3月 6日	全国環境連事務局長会議 (全国環境連事務所)
3月15日	全国環境連第6回理事会 (全国環境連事務所)
3月23日	財団法人岡山県環境保全事業団理事会 (財団会議室)
3月24日	全国環境連中国地区協議会理事会 (ダイワロイネットホテル岡山)
3月30日	組合第6回常任会・理事会 (組合会議室)
5月10日	全国環境連第1回理事会 (全国環境連事務所)
5月28日	全国環境連通常総会 (東京)
5月29日	組合総会 (岡山プラザホテル)
6月 1日	全国環境連中国地区協議会第1回理事会 (岡山市)
6月15日	全国環境連中国地区協議会第2回理事会 (岡山全日空ホテル)
	全国環境連中国地区協議会総会 (岡山全日空ホテル)
7月19日	全国環境連第2回理事会 (東京)
7月25日	全国環境連中国地区協議会第3回理事会 (岡山全日空ホテル)
8月 3日	組合常任会・理事会 (組合会議室)

シリーズ第34回
水とくらし

松本 宏之

軟水の特徴 軟水は日本人が特に好み、口当たりがまるやかで飲みやすい水です。素材の持ち味、ダシの旨みを引き出しやすいので料理にも適しているほか赤ちゃんのミルク作りや香りが引き立つのでコーヒー、紅茶などについてもそれぞれの味と香りがそのまま出ます。軟水は浸透が早く、吸収性に優れているので、老廃物の排出がスムーズになり、赤ちゃんや高齢者など、デリケートな身体の人にも負担をかけないのが特長です。また、生活用水としては、石けんや洗剤が泡立ちやすいので、洗濯や浴用にも適しています。

硬水の特徴 硬水はミネラル補給やダイエット、便秘解消に役立つので、硬水にはなじみが浅い日本人でも、健康のために飲用している人は結構います。ただし、胃腸に負担をかけやすいので、胃腸が弱い人や抵抗力の弱い人が大量に飲むとお腹を壊すことがあります。料理においては、肉などの灰汁が出やすくなるので、灰汁が多い料理には適している他、洋風料理やパスタを茹でる時に使うとコシが出ます。ただし、炊飯に使うとご飯がパサパサになる上、硬水独特の苦味やえぐみが強調されるので、淡白な和食料理には向きません。また、石けんなどの泡立ちが悪いことでも知られています。

どちらを飲めばよいか? 上記を見てもわかる通り、軟水と硬水にはそれぞれメリットがあります。そのため、用途に応じて使い分けるのが上手な水の利用方法であり、快適な水生活を送るコツと言えます。ただし、日本人は軟水中心の生活を送っているため、硬水は常備品というよりも、使用の際に適量準備する程度で十分でしょう。

活 動 報 告

23. 8. 4	組合第3回常任会・理事会 (組合会議室)	12. 15	組合常任会・理事会 (組合会議室)
8. 26	組合研修会 (組合研修室、81名参加)	24. 1. 4	新年あいさつ (岡山市長)
9. 5	組合員に台風12号による市町村への協力要請を行う。	1. 5	新年あいさつ (岡山県知事)
9. 16	全国環境連第3回理事会 (山口市)	1. 11	岡山県中小企業団体中央会新年会 (岡山全日空ホテル)
9. 22	組合第4回常任会・理事会 (組合会議室)	1. 18	全国環境連情報構築委員会 (全国環境連事務所)
10. 12, 13	第25回全国浄化槽技術研究集会 (土浦市)	1. 19	全国環境連第5回理事会及び新春懇談会 (東京・海運クラブ)
10. 28	全国環境連第9回全国大会 (山口市)	1. 23	組合保守点検登録業更新申請 (岡山県、岡山市、倉敷市)
11. 9	全国環境連新規許可対策委員会 (大分市)	1. 26	全国環境連中国地区協議会理事会 (岡山全日空ホテル)
11. 13	勲岡山県健康づくり財団20周年記念式典 (健康づくり財団)	1. 31	組合第5回常任会・理事会及び新春懇親会 (岡山プラザホテル)
11. 16, 17	岡山県貯水槽清掃作業従事者研修会 (組合研修室)	2. 1	保守点検登録業更新現場検査 (岡山市)
11. 19	鳥取県環境整備事業協同組合50周年記念式典 (倉吉市)	2. 3	保守点検登録業更新現場検査 (倉敷市)
11. 25	岡山県備前県民局長表彰式 (寺尾邦弘氏、甲元政利氏受賞)	2. 8	保守点検登録業更新現場検査 (岡山県、笠岡)
11. 29	全国環境連第4回理事会 (宮崎市)	2. 10	保守点検登録業更新現場検査 (岡山県、津山、真庭)
12. 7	組合事業部業務打ち合わせ会議 (組合会議室)	2. 13	岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会研修会 (岡山市)
12. 8	全国環境連中国地区協議会理事会 (岡山全日空ホテル)		

編集後記

東北大震災より、1年が経過しました。まだまだ復旧の兆しが見えませんが、私たちでできる精一杯の支援の輪を組合の力を合わせていきましょう。



BIFU

Vol.37

発行日 平成24年3月29日
 発行 岡山県環境整備事業協同組合
 編集 機関紙担当理事 寺尾 邦弘
 住所 岡山市南区山田290-2
 tell/fax 086-282-6455/086-282-6685
 E-mail okakan01@poem.ocn.ne.jp
 印刷 (有)A Pプランニング